

平成20年度 第4回役員会 議事録

記録 D グループ-原

日 時 : 2008年11月26日(火) 13:30~17:00

場 所 : 東地区文化センター 講座室

出席者 :(敬称略) 欠席

A グループ	B グループ	C グループ	D グループ	HP 部会	公民館	北地区 文化センター	東地区 文化センター
内田	和田	廣瀬	原	木下	林	井上	野口

H21年度市主催講座の検討のため、館担当者とZPSCとの合同会議とした。

多嶋田会長が病気休会のためCグループ長として廣瀬が出席

議題 (議事録内氏名: 敬称略 A~D: グループ名)

 H21年度市主催講座の公民館からの要望

- 1 - H21年度は「パソコンの基礎」「ワード入門」「エクセル入門」の3講座とする。
- 2 - 年間4講座/館(4講座×3館=12講座)を計画し、5月~3月で実施する。

各館は4講座の実施を下記4形態としたい。

実施形態	平日午前	平日午後	夜	土/日
回数	1	1	1	1
受講対象者	平日の受講希望	主として平日仕事のため夜・土/日希望		

 H20年度実施講座の反省および次年度への意見「はじめてのパソコン講座」(H20年度 2回/館 A-2回 B/A-1回 C-1回 D-2回)

- ・申し込み者が少なくなっている。
- ・H21年度は1回/館でよいのではないか(各館で検討する)

「ワード入門」(H20年度 1回/館 A-1回 D-1回 B/D-1回)

- ・現状の講習カリキュラムで余裕を持って実施出来た。
最終日に「はがきの印刷物」を持ち帰った。(A,D)
- ・11月北-夜間講座は4日間では講義時間が少し長いのではと感じた。(北-井上)
最終日に「はがき印刷物」以外にUSBメモリー(新品)持参者に入力ファイルの持ち帰りを認めた。(メモリー持参者 13名/受講者 15名)

「エクセル入門」(H20年度 1回/館 C-2回 B/C-1回)

- ・文字入力の遅い受講者が居るので、セルへの数字入力を主体にして進めた。(C)
- ・テキスト記載外の家計簿も講座目標にしたため、9月公民館の講座では時間不足を感じた。
1月北文では補助教材を作成して実施する。(C)
- ・第1日目はやさしいという声があったが2日目の後半から難しいという声があり、

4日目は完全に講座についていけない人が一人いた。その方は最後までテキストをみながら独学でやっていた。(東)

その他

(a)夜間講座の対応

- ・Bグループより夜の講座のH21年度実施は厳しい状況であるとの提起あり。
(和田Bグループ長および國分さんから問題提起された一役員メール)
Aは夜間の対応可能者を聞いたが、手を上げる人がいない。
- ・今回は和田Bグループ長欠席のため、BグループのH21年度の対応は次回に協議する。
各グループ長は和田、國分案をもとに、再度各グループ内で夜間の対応策を検討して来る。
- ・夜間講座をZPSCで対応が困難な場合の方策も今後検討する。

主な意見

- ・各グループより夜間講座の参加可能者を募り夜間対応グループを設ける。和田(案)
- ・夜間から土/日の講座に変更出来ないか。
- ・土/日の講座で午前/午後続けての短期集中講座は。(受講者、講師が大変との意見もあり)

(b)「はじめてのパソコン講座」受講後に同じ年度内で上位講座「ワード入門」「エクセル入門」の申し込み者の受け入れ条件が、館により異なるので明確にして欲しい。

(上位講座申し込み者が多く抽選の場合、年度内での「はじめてのパソコン講座」受講者は抽選者に加えるのか、外すのか?)

(c)講座などで設定を変更した場合は、「VIST機のクラブ基準」に戻すルールになっているが最近守られていないうきが見受けられた。元に戻すと共に、講座リーダー間で引継ぎを行う。

□ 次回打ち合わせ

平成20年12月16日(火)18:00~ 東地区文化センター(実習室)

参加者:館担当者とZPSC役員及びH21年度グループ長予定者

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

□ ZPSC役員のみで協議

1 - 多嶋田会長の休会に対する対応

H21度計画、年次総会等の準備時期にあたり、下記体制で対応する。

- ・内田副会長が、会長代行を行い、廣瀬Cグループ長代理が副会長代行を行う
- ・会計、書記監査は現状とする。

2 - 平成20年度「生涯学習フェスティバル募集」のプロモーション参加の提案があり討議した。(C-廣瀬)

(生涯学習フェスティバル開催日、会場:21年3月4日ハーモニーホール座間小ホール)

会長休会、参加日程等に余裕がなく、本期は不参加とする

3 - H21年度各班のグループ長(予定者)

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
館石	未定	廣瀬	下田

以上